

学年		組		氏名	
----	--	---	--	----	--

1 次の計算をしましょう。

(1) $18 \div 0.9$ (H28)

$$= (18 \times 10) \div (0.9 \times 10)$$

$$= 180 \div 9$$

$$= 20$$

別の解き方)

$$\begin{array}{r} 20 \\ 9 \overline{)180} \\ \underline{180} \\ 0 \end{array}$$

指導する先生方へ 正答率 宮城県73% 全国78% かい離5%

2と解答した児童が10%を超えました。

1より小さい数で割ったときの商の大きさが割られる数より大きくなることは、包含除の場面で考えた方が感覚的に認めやすい場合があります。常に、振り返って妥当性を吟味する習慣をつけることも大切です。

(2) $6 + 0.5 \times 2$ (H29)

$$= 6 + 1$$

$$= 7$$

指導する先生方へ 正答率 宮城県60% 全国67% かい離7%

13と解答した児童が23%、16と解答した児童が2%いました。

13という誤答は、乗法を先に計算せず $6 + 0.5$ を行ったため、16という誤答は、 0.5×2 の計算結果を誤って10と計算したためと考えられます。

児童の誤答の原因を分析的にとらえることが指導改善の第一歩です。

2 ゆりえさんたちは、交流会にきてくれた^{ちいき}地域の方20人に、お礼の手紙と記念品をいっしょに封筒に入れて送ろうとしています。

1通送るのにかかる料金は、封筒の大きさと重さによって、次のように決まっています。

1通送るのにかかる料金

封筒の大きさ	封筒の重さ	料金
小さい封筒	25 g 以内	82円
	50 g 以内	92円

大きい封筒	50 g 以内	120 円
	100 g 以内	140 円
	150 g 以内	205 円

手紙と記念品を小さい封筒に入れると、1通の重さは27gになりました。また、大きい封筒に入れると、1通の重さは36gになりました。ゆりえさんたちは、料金をできるだけ安くするために、小さい封筒に入れて送ることにしました。

手紙と記念品を封筒に入れて、20通送るときの料金について考えます。小さい封筒に入れて送る場合は、大きい封筒に入れて送る場合と比べて、何円安くなりますか。

求め方を言葉や式を使って書きましよう。また、答えも書きましよう。(H29)

(解答例1)

小さいふうとうに入れると27gだから、1通送るのに92円かかる。

20通送るから、 $92 \times 20 = 1840$ で、1840円かかる。

大きいふうとうに入れると36gだから、1通送るのに120円かかる。

20通送るから、 $120 \times 20 = 2400$ で、2400円かかる。

その差は、 $2400 - 1840 = 560$ 円なので、560円安くなる。

答え 560円

(解答例2)

小さいふうとうに入れると27gだから、1通送るのに92円かかり、大きいふうとうに入れると36gだから、1通送るのに120円かかる。

1通送るのにかかる料金の差は、 $120 - 92 = 28$ で、28円である。

20通送るから、 $28 \times 20 = 560$ 円なので、560円安くなる。

答え 560円

指導する先生方へ 正答率 宮城県36% 全国40% かい離4%

料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを、言葉や式を用いて記述できるかどうかをみる問題です。

情報過多の問題を扱い「複数の情報から必要な情報を選択できる力」を高めていくことが大切です。

また、筋道立てて説明できる児童を育てるためには、自分の考えを書く時間をしっかり確保するとともに、対話的な学びの場を適切に設定していくことが必要です。